



熊本市長  
幸山 政史

## 「選ばれる都市」を目指して

熊本市は、国連「生命の水」最優秀賞を受賞した清冽な地下水、豊かな緑などの自然環境に恵まれ、熊本城をはじめとする歴史遺産と伝統文化が息づく、人口73万人の九州中央の交流拠点都市です。

本市は、1979年の中国・桂林市との友好都市締結をはじめ、1987年の米国・サンアントニオ市、1992年のドイツ・ハイデルベルク市との友好・姉妹都市を締結するなど、長年にわたり海外都市との交流を深化させ、近年では、2010年に韓国・蔚山広域市と友好協力都市を締結し、昨年はフランス・エクサンプロヴァンス市、中国・蘇州国家高新区との交流都市交流、台湾・高雄市と国際交流促進覚書を交わすなど、都市間交流を積極的に推進しています。

また、2012年1月には、企業のビジネスの支援や観光客誘致、留学生誘致等を推進するため、熊本県、熊本大学共同で中国・上海市に「熊本上海事務所」を開設するなど、本市と地理的に近く、歴史的にもつながりが強い中国や韓国、発展著しいASEAN諸国などの東アジア地域との交流、連携、情報発信などを戦略的に進めております。

このような中、昨年10月には、本市で世界139カ国から閣僚を含む約千人が参加した「水銀に関する水俣条約外交会議」が開催された他、アジア太平洋地域の都市の連携を目指して「アジア太平洋都市サミット」を開催するなど、海外から多くの方々にご来熊いただき、本市の魅力を広く国内外へ発信する機会を得ることができました。

少子高齢化や将来の人口減少、都市間競争の激化など、本市を取り巻く環境が大きく変化する中、今後、本市が九州の中核拠点都市として未来に向かって飛躍し続けるため、このような国際会議などのMICE誘致への取組みを強化することで交流人口の増加を図るとともに、市民をはじめ民間団体、教育機関等との更なる連携・協働のもと、海外との人・モノ・情報の交流を活発化し、人とまちの活力を高めることで、都市の新たな魅力を創出してまいりたいと考えております。

また、グローバル化が進んだ今日、まちづくりの担い手である市民一人ひとりが国際的な視野と「地球市民」としての自覚を持ち、他国の多様な文化や価値観を尊重しあって、お互いの文化的違いを認め合うことが重要であり、国籍を問わず全ての人が地域社会の構成員として共に安心・安全に暮らしていくことのできる「多文化共生のまちづくり」にも力を注いでまいりたいと考えております。

そして、これらの将来を見据えた創造的なまちづくりを進めていくことで、アジアはもとより世界の国々から「選ばれる都市」となるよう取り組んでいきます。